保存版

医学系研究科
看護学専攻
博士前期課程

2026年度

履　修　要　項
スタートガイド

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

目次

学年暦 3
大学の理念・使命 4
教育目標 4
大学の三つのポリシー 4
看護学専攻博士前期課程の概要 5
看護学専攻博士前期課程の構成 6

01 履修要項
- 授業科目の履修方法 8
- 成績評価 9
- 既修得単位の認定 9
- 研究デザイン発表会 10
- 修了要件・学位授与 10
- 学位審査 10
- 在学期間 10
- 進級・休退学等 10
- 長期履修制度 11
- カリキュラムツリー 12

02 科目・担当教員一覧 13
03 教員の主な研究内容 19
04 科目ナンバリング 21
05 主な規程等 21
06 スタートガイド
- 新入生やることリスト 22
- 各種チュートリアル 23

令和８年度　医学系研究科看護学専攻博士前期課程　学年暦

日付	行事
2026年4月2日(木)	入学宣誓式・新入生履修指導(春季)
4月3日(金)　～　8月5日(水)	前期授業
8月6日(木)　～　9月30日(水)	夏季休業
8月26日(水)　～　8月27日(木)	学位論文研究発表会（第１回） 研究デザイン発表会（第１回）
10月1日(木)	学位授与式(秋季)
10月1日(木)	入学宣誓式・新入生履修指導(秋季)
10月2日(金)　～　2027年2月15日(月)	後期授業
10月24日(土)　～　10月25日(日)	学園祭（若鮎祭）※授業は休講
2026年12月26日(土)　～　2027年1月3日(日)	冬季休業
2月17日(水)　～　2月19日(金)	学位論文研究発表会（第２回） 研究デザイン発表会（第２回）
2月16日(火)　～　3月31日(水)	春季休業
3月18日(木)	学位授与式(春季)

［備考］

1）定期健康診断の日程は、別途通知します。

2）その他、学年暦に変更があった場合は、その都度通知します。

大学の理念・使命

理念

滋賀医科大学は、地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与する。

使命

大学院は、医学及び看護学の領域において、優れた研究者及び高度な知識と技術をもつ専門家を養成することを目的とし、もって、医学及び看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とする。(国立大学法人滋賀医科大学大学院学則第２条より抜粋)

教育目標

医学系研究科看護学専攻博士前期課程では、本学の使命のもと、高度な知識と技術をもつ専門家を養成し、教育・研究・実践の場で高度な専門性とリーダーシップを発揮し、看護学の発展と人々の健康の向上に寄与することができる次のような能力を備えた人材育成を目指しています。

- **深い学識と倫理観**

高度な研究能力及びその基礎となる豊かな教養と深い知性、確固たる倫理観を基盤にした人間性を涵養する。

- **高度な専門性とリーダーシップ**

保健・医療・福祉の専門職との協働において、看護専門職としての意思決定と主体的行動が執れるとともに、さまざまな状況においてリーダーシップを発揮する能力を養う。

- **独創性と国際性**

看護上の問題発見力・論理的思考力を発揮し、主体的かつ独創的に研究活動を推進するとともに、国際的・学際的に活躍する能力を養う。

- **社会への貢献**

複雑で多様な人々の健康問題に柔軟に対応し、看護学の発展と人々の健康に貢献できる看護専門職を育成する。

大学の三つのポリシー

①アドミッション・ポリシー

求める学生像

本学の理念に基づき、学生が深い学識と確固たる倫理観を備え、かつ、科学的思考に依拠して行動できる看護職の育成を目指し、教育・研究・実践の場においてリーダーシップを発揮し、活躍できることを目標としています。看護学を修める医療人として必要な学識・能力・技能を修得する素養を持ち、看護学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めています。

1. 看護学の専門知識と理論・実践力を修得することに努力を惜しまない者（主体性）
2. 社会人としての常識を持ち、社会的責任を認識している者（社会人基礎力）
3. 看護学の探求に意欲があり、学生や教員、多様な専門職者及び地域の人々と協力して学修を進められる者（コミュニケーション力、表現力）
4. 看護学に関する基本的な知識と教養を有し、さらに発展的思考の獲得に努力を惜しまない者（専門職者としての基礎学力、思考力）
5. 知的好奇心を有する者（主体性）

入学者選抜の基本方針

- **研究コース**

1. 各専門分野の基礎知識と思考能力を問う「専門科目」試験を実施する
2. 科学的研究の遂行に必要な語学力を測る「外国語（英語）」の筆記試験を実施する
3. 研究意欲や倫理観等、研究者としての資質や適性を確認する「面接」を実施する

- **看護管理コース・高度実践コース**

1. 各専門分野の基礎知識と思考能力を問う「専門科目」試験を実施する
2. 志望する分野での研究課題等についての基礎的知識や研究意欲等を測るための「口述試験」を課す

②カリキュラム・ポリシー

看護学専攻博士前期課程では、論理的思考力、高度な専門性、医療人としての確固たる倫理観が持てるような教育システムを設けています。

教育課程の編成の方針

外国語を含む看護研究方法論を体系的な枠組みとし、共通科目と専門科目を位置づける。専門科目に関しては、講義と演習を組み合わせ、能動的な学修の機会を設定し、専門的知識のみならず倫理観、実践能力および国際的視野を養成する。

教育課程における教育・学修方法に関する方針

1. １専攻３コース（研究コース、看護管理コース、高度実践コース）を設け、中間発表の機会による横断的な指導体制とする
2. 共通科目と領域別科目をおき、高度な専門性と論理的思考に基づく課題発見力と問題解決能力を養う。
   ① 看護学研究者として必要な基礎的知識と研究遂行能力、研究の倫理性について、3 コースの共通科目をとおして養う
   ② 領域別科目では、各専門領域の専門的知識と研究実践能力もしくは高度実践能力を養う
3. 上記に加えて、コースの特徴に合わせた科目を設ける。
   ① 研究コースでは、さまざまな研究課題に応じた最先端の研究方法や国内外の知見を教授し、看護学の発展に寄与しうる課題に関する特別研究をとおして看護学を教授することにより、創造的かつ自立した研究遂行能力を養う
   ② 看護管理コース、高度実践コースでは、各専門領域に特化した高度な看護実践力を身につけるため、課題研究及び演習や実習をとおして、臨床看護実践における複雑な課題に対して科学的エビデンスに基づく高度な実践力を養う

学修成果の評価の方針

学修の成果は、シラバスに記載された学修目標を、課題レポート、資料作成、プレゼンテーション、演習や実習への参加状況等で科目の特性、授業形式を踏まえて多面的な評価方法によって客観的に評価します。学位論文の審査は、透明性・厳格性を確保するために公開にて行い、知識・能力・発展性について評価します。

③ディプロマ・ポリシー

看護学専攻博士前期課程においては、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、必要な単位を修得のうえ、審査及び試験に合格し、次のとおり優れた知識と能力を身につけている学生に学位（看護学専攻：修士（看護学））を授与します。

看護学の発展と人々の健康の向上に寄与するための科学的知見の生成と専門的見地から社会に顕在・潜在するニーズの発見や課題解決ができる次のような能力を備えた人材育成を目

指しています。

1. 看護学における科学的思考と知的誠実さに基づき学術的妥当性を吟味した研究計画を立案し遂行することができる
2. 研究や看護実践において人権を尊重し権利の擁護のために倫理的問題の解決に取り組むことができる
3. 研究や看護実践における課題を見出し、専門的思考に基づき問題解決に向けて取り組む能力を有するさらに、リーダーシップを発揮しながら多職種と協働することができる
4. 自らの専門性と看護専門分野の知見を応用し、あらゆるライフサイクルにある看護の対象者への健康課題解決のための革新的方法の開発と知見生成を創造的かつ意欲的に取り組むことができる
5. 専門性のある学問分野としての看護学を、国際的視野をもって理解することができる

看護学専攻博士前期課程の概要

教育研究上の目的

看護学専攻博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け，看護学における研究能力と人間性を備えた優れた研究者を育成するとともに，高度な先進的看護を支える確かな専門知識と看護技術をもつ優れた看護の専門家を養成し，併せて看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することができる人材の育成を目的としています。

カリキュラムの特徴　Features of the Curriculum

看護学専攻博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け，看護学における研究能力と人間性を備えた優れた研究者を育成するとともに，高度な先進的看護を支える確かな専門知識と看護技術をもつ優れた看護の専門家を養成し，併せて看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することができる人材の育成を目的としています。

３つのコース

看護学専攻では研究コース・高度実践コース・看護管理コースの３つのコースを設けており、研究コースは２つの研究部門に分かれます。詳細は「看護学専攻博士前期課程の構成」をご確認ください。

自由に選択できる多様な授業科目

各自の研究テーマに合わせて、全領域の共通分野の授業科目と各研究領域の講義科目より、研究領域を越えて自由に選択することができます。

きめ細やかな研究指導

修士論文の作成に関連して、専攻の領域を越えたきめ細やかな指導が受けられるように配慮し、中間発表の場（研究デザイン発表会）を設けています。

教育方法の特例

医学系研究科では、大学院設置基準第 14 条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学し、教育・研究指導を受けることが可能になるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に講義・研究指導を行うように配慮しています。

長期履修制度の導入

職業を有している等の事情により、修業年限（２年）を超えて一定の期間（３年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを願い出たときは、審査によりこれを認めることができる制度を設けおり、入学時又は第１学年在学時の定められた時期に願い出ることができます。

看護学専攻博士前期課程の構成

看護学専攻博士前期課程は、次のような構成になっています。

研究コース―生涯発達看護実践科学部門

「生涯発達看護実践科学」とは、多様な健康課題を抱える対象者を生涯発達する人として捉え、科学的研究手法に基づく提言により切れ目ない看護実践の確立を目指し、一人ひとりの生涯にわたる最善の健康・療養支援のあり方を探求する看護学と定義します。

看護の対象者を生涯発達する人として捉える意味を理解し、切れ目ない看護を展開する生涯発達看護実践科学部門は、人々にとって最善の健康状態を実現するための看護のあり方を示すことができる人材を育成することを目標とし、対象が有する健康課題から病態を理解し必要な看護ケアに関する知見を蓄積した後、広く社会への還元ができることを目指します。すなわちエビデンスの実践応用として位置付けられる「研究者から臨床家へ」「臨床家から対象者へ」の過程に対応可能な研究者の育成を実現していきます。

研究コース―ケアシステム看護科学部門

「ケアシステム看護科学」とは、看護の対象者である個人の健康を環境との相互作用を含めて理解し、健康課題の解決に向けて科学的な手法を用いることにより、コミュニティケアと看護管理の視点から、持続可能なケアシステムの創成を探究する看護学と定義します。

ケアシステム看護科学部門は、病院、施設、地域の垣根を越えて、人々が生活を営む場の特性に応じたケアシステムの在り方を示し、広く社会に発信できることを目指しています。健康課題の解決に向けて、住民、保健・医療・福祉専門職、行政などの地域社会を構成する多様な人々と協働してケアシステムの創成を探究し、その成果を社会へ実装できる研究者の育成を実現していきます。

高度実践コース―専門看護師領域（母性 CNS 部門）

専門看護師は、看護師として５年以上の実践経験をもち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。

母性ＣＮＳ部門では、「母子および家族への支援のほか、女性ならではのライフサイクルや健康への援助を含む質の高い看護ケアを提供する」という、母性看護学が目指す理念を実現化する教育を行い、周産期・ウイメンズヘルス分野で高度な看護実践を担える人材の育成を実現します。

高度実践コース―特定行為領域

特定行為領域は、看護の様々な実践領域での特定行為を担い得る卓越した知識と技術を有する高度実践看護師を育成し、その役割モデルを示すことで、実践領域における看護の専門性向上と臨床看護の発展に寄与することを目指す領域です。看護学専攻博士前期課程在学中に厚生労働省認可の特定行為研修が受講でき、最短２年で修士の学位と特定行為研修を修了することができます。

- **特定行為実践部門**

特定行為研修は、必要な特定行為区分を１区分から履修できます。臨床で培った実践からの学びと看護学を基盤に、慢性期・急性期・在宅領域において、特定行為などの高度な看護実践者として必要な臨床判断能力や技術の習得だけでなく、専門職的自律性の高い看護職の育成を目指しています。また、看護学専攻博士前期課程で学ぶことにより、看護学と看護の専門性を顧み、新たな臨床看護技術として特定行為実践構造や教育方法などの課題（開発）に取り組む基礎能力を養います。

- **周麻酔期看護実践部門**

超高齢化社会を迎え、手術医療においてもハイリスク患者が増えています。また、周麻酔期の扱う範囲が術前、術中、術後の全身管理、鎮静下検査、疼痛緩和ケア、急変時対応など手術室外にも広がり、こうした麻酔領域に対応できる周麻酔期特定看護師の育成が急務となっています。

本部門では「特定行為実践部門」を急性期、特に周麻酔期分野に特化させ、周麻酔期看護実践で必要な特定行為７区分（呼吸器（気道確保）・（人工呼吸療法）・（長期呼吸療法）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連）が履修できます。

これらの特定行為研修に加えて麻酔科学、臨床薬理学等に精通した専門的知識や麻酔看護の知識・技術の習得を目指した科目を履修します。また、周麻酔期看護学として意義のある課題解決型の研究に取り組み、今後の医療の進歩によって生じる新たな課題に対応できる能力を培います。

看護管理コース―看護管理領域

看護管理コース―看護管理領域は、保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応できる幅広い知識をもち、看護管理能力やリーダーシップ能力、看護職の指導的能力及び倫理観を備えた看護管理実践者を育成し、質の高い組織的看護サービスの発展に寄与することを目指す領域です。

01　履修要項

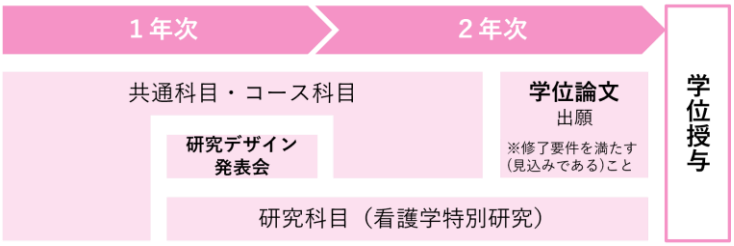
授業科目の履修方法

科目・担当教員一覧は p.13～ >

● 研究コース（生涯発達看護実践科学部門・ケアシステム看護科学部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	6 単位	2 単位	8 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目		4 単位	—	
研究科目	看護学特別研究	10 単位	—	—
合計		30 単位以上		

【履修モデル】

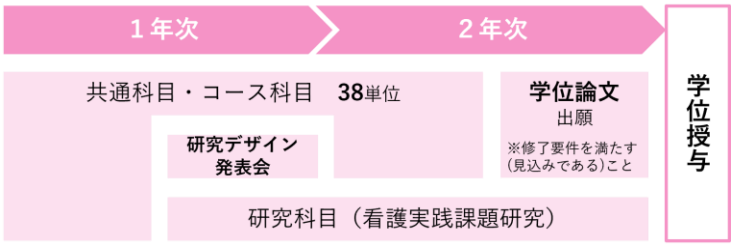


共通科目全領域の必修科目 6 単位、選択必修科目 2 単位、当該研究部門・領域の必修科目 4 単位、共通科目全領域の選択必修科目、選択科目並びに他の研究領域の特論から 8 単位以上、及び研究科目である看護学特別研究 10 単位の、合計 30 単位以上を修得してください。

● 高度実践コース－専門看護師領域（母性 CNS 部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	6 単位	—	6 単位以上
	特定行為	2 単位	—	—
コース科目		24 単位	—	—
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		42 単位以上		

【履修モデル】

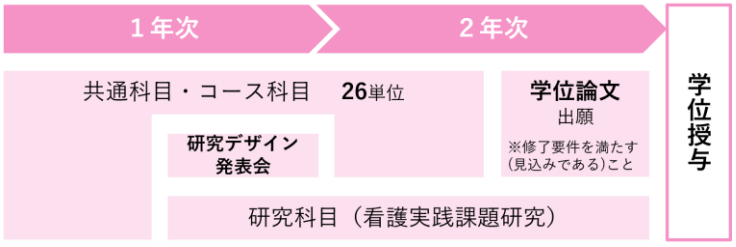


共通科目・全領域の必修科目 6 単位、選択科目から 6 単位以上、共通科目・特定行為領域の必修科目 2 単位、当該コース・領域の必修科目 24 単位、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の、合計 42 単位以上を修得してください。

● 高度実践コース－特定行為領域（特定行為実践部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	2 単位	—	4 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目	専門科目	6 単位	—	10 単位まで
	特定行為実践	4 単位	—	
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		30 単位以上		

【履修モデル】

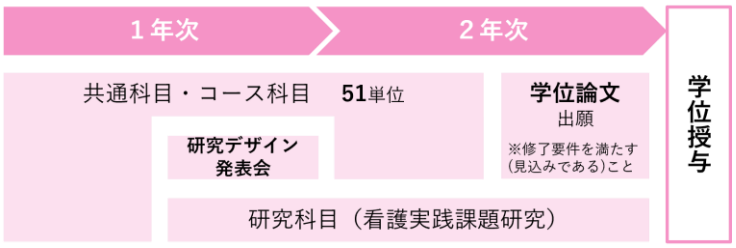


共通科目・全領域の必修科目から 2 単位、選択科目から 4 単位以上、コース科目特定行為領域専門科目から 6 単位、特定行為実践の必修科目から 4 単位、専門科目と特定行為実践科目の選択科目から 10 単位まで、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の、合計 30 単位以上を修得してください。

● 高度実践コース－特定行為領域（周麻酔期看護実践部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	2 単位	—	16 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目	専門科目	6 単位	—	20 単位まで
	周麻酔期看護実践	7 単位	—	
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		55 単位以上		

【履修モデル】

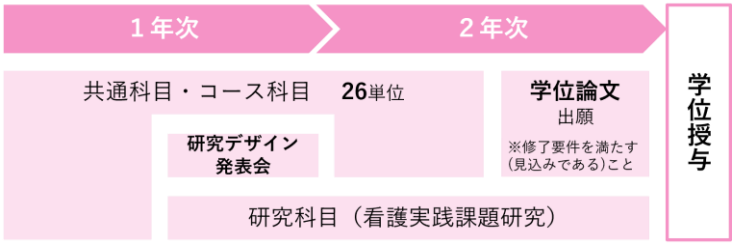


共通科目・全領域の必修科目から 2 単位、選択科目から 16 単位以上、コース科目特定行為領域専門科目から 6 単位、周麻酔期看護実践の必修科目から 7 単位、専門科目と周麻酔期看護実践の選択科目から 20 単位まで、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の合計 55 単位以上を修得してください。

● 看護管理コース－看護管理領域（看護管理実践部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	10 単位	—	6 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目		10 単位	—	—
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		30 単位以上		

【履修モデル】

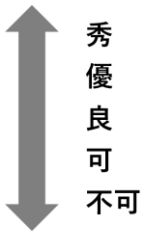


共通科目・全領域の必修科目から 10 単位、コース科目の必修科目から 10 単位、共通科目の選択科目から 6 単位以上、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の合計 30 単位以上を修得してください。

成績評価

各授業科目の成績は、試験やレポート等の多面的な評価方法により以下の 5 段階で評価され、可以上を合格とします。「秀」「優」「良」「可」以外の評価がなされた科目は、次年度に自動的に履修登録されます。必ず再履修してください。

履修登録状況及び成績は、学生用 WEB サービスで確認してください。学生用 WEB サービスの利用方法は、**スタートガイド**（p.22～）で確認してください。



既修得単位の認定

教育研究上有益と認められるときは、本学の大学院に入学する前に大学院で科目を履修し修得した単位を、本学大学院に入学後、本学大学院における授業科目の単位とみなすことができます。「大学院で科目を履修し修得した単位」には、科目等履修生として修得した単位も含まれます。

申請方法｜学務課大学院教育支援係に相談する

研究デザイン発表会

研究デザイン発表会とは、各学生が進めている研究を発表する会です。対象学生・発表方法等は、以下のとおりです。

対象学生｜看護学専攻博士前期課程第１学年ないし第２学年に在籍中の学生
（発表会参加時期については、指導教員と相談してください）
開催時期｜毎年２回（８月、２月）
試験方法｜学生は、自身以外の学生及び教員の前で発表（約８分）、質疑応答（約７分）を行います。
そ の 他｜開催日程等の詳細については、当該時期に届くメールをご確認ください。

修了要件・学位授与

看護学専攻博士前期課程の修了の要件は、当課程に２年以上在学し、上記履修方法により 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験（＝学位審査）に合格することとしています。なお、看護管理コースまたは高度実践コースを選択した者に限り、当該博士前期課程の目的に応じ、適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果をもって修士論文の審査に代えることができます。これらの修了要件を満たした学生には、「修士（看護学）」の学位が授与されます。

また、本学大学院委員会が優れた業績を上げたと認める者については、１年以上の在学期間をもって学位を授与することがあります。

学位審査

看護学専攻博士前期課程の最終学年に在学し、かつ、修了要件単位を修得したら（見込みでも可）、当該学位審査に出願が可能です。

学位審査の詳細（出願方法・日程等）については、本学 HP からご確認ください。

https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/application-for-degree

（本学 HP>教育・学生支援>教育>学位申請）

在学期間

標準修学年限は２年です。在学年限は、一般入学者が４年、社会人入学者が６年で、この期間を超えて在籍することはできません。

進級・休退学等

進級

進級は各学年における在学年限を満たしている場合に、年度始め（後期入学者の場合は後期）にのみ認められます。前期入学者の場合、後期に進級することはできません。休学した場合は、次年度は進級できませんが、半期休学の場合には過去の在学状況により進級できる場合があります。

休学

休学を希望する場合は、休学願を提出してください。一度に申請できる休学期間の上限は１年で、もう１年を限度としてその期間を延長できます。休学期間は、通算２年を超えることはできません。なお、休学期間は在学期間に算入されません。**申請した休学期間が終了すると、自動的に復学となります（このとき、復学願の提出は不要です）。**ただし、傷病により休学した場合は、医師の診断書を添付した復学願の提出が必要です。

休退学等の手続き期間

休・退学、海外留学、国内留学等、身分異動に係ることについては、受入先機関や本学の関係委員会の承認を得るなどの手続きが必要ですので、指導教員に相談の上、遅くとも希望日の１ケ月半前には（留学等受け入れ先がある件については、可能な限り早い時期に）申し出てください。

長期履修制度

長期履修制度とは、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（２年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度です。

適用申請は１年単位で可能です。この制度を利用した場合、修業年限（修了するために必要な学修期間）は、原則３年となります。在学年限（在学できる最大の期間）は、長期履修制度の利用如何に関わらず４年です。ただし、社会人入学者（在学途中での大学院設置基準第１４条特例適用者含む。）の在学年限は６年です。また、授業料は、年額（１年分）を残りの在学期間（２年間）で納付していただきます。

申請方法｜**長期履修申請書**〔様式〕と、**長期履修規程第２条各号のいずれかに該当することを証明できる書面（在職証明書又は就業が確認できる書類、その他理由書等）**を、学務課大学院教育支援係に提出する。

申請時期｜春季入学者は１年次２月、秋季入学者は１年次８月の定められた期間のみ。

なお、長期履修制度の適用期間は、６ヶ月又は１年単位で短縮可能です。期間を短縮する場合は、授業料（年額×２年分）から、既に納付済の授業料を減じた額を残りの在学期間に応じて納付していただきます。

申請方法｜**長期履修期間変更申請書**〔様式〕を、学務課大学院教育支援係に提出する。

申請時期｜２月、８月の定められた期間のみ（ただし、修了予定時期の半年前までに申請すること）。

看護学専攻博士前期課程　カリキュラムツリー

学位授与

【DP1】　看護学における科学的思考と知的誠実さに基づき、学術的妥当性を吟味した研究計画を立案し遂行することができる。

【DP2】　研究や看護実践において、人権を尊重し、権利の擁護のために倫理的問題の解決に取り組むことができる。

【DP3】　研究や看護実践における課題を見出し、専門的思考に基づき、問題解決に向けて取り組む能力を有する。
さらに、リーダーシップを発揮しながら、多職種と協働することができる。

【DP4】　自らの専門性と看護専門分野の知見を応用し、あらゆるライフサイクルにある看護の対象者への健康課題解決のための革新的方法の開発と知見生成を、創造的かつ意欲的に取り組むことができる。

【DP5】　専門性のある学問分野としての看護学を、国際的視野をもって理解することができる。

2年次

修士論文
（看護学特別研究）

修士論文
（看護実践課題研究）

部門･領域別の科目

周産期看護学演習
チャイルドヘルス看護学演習B
NCD看護学演習B
フレイルケア看護学演習B
看護病態管理学１演習B
看護病態管理学２演習B
看護臨床データサイエンス演習B

基盤医科学演習B
基盤看護学演習B
ヘルスプロモーション看護学演習B
訪問看護学演習B
精神保健看護学演習B

ウイメンズヘルス看護学特論・演習
チャイルドヘルス看護学特論・演習A
NCD看護学特論・演習A
フレイルケア看護学特論・演習A
看護病態管理学１特論・演習A
看護病態管理学２特論・演習A
看護臨床データサイエンス特論・演習A
基盤医科学特論・演習A
基盤看護学特論・演習A
ヘルスプロモーション看護学特論・演習A
訪問看護学特論・演習A
精神保健看護学特論・演習A

母性CNS部門

（必修）
ウイメンズヘルス学特論
ウイメンズヘルス看護学演習
周産期ハイリスク特論
周産期看護学演習
母乳看護学
周産期メンタルヘルス学
リプロダクティブヘルスと看護
周産期家族看護学
女性と暴力
ウイメンズヘルスケア実習
母性看護実践実習Ⅰ
母性看護実践実習Ⅱ

（選択）
周産期看護演習Ⅰ

特定行為実践部門

（必修）
特定行為看護特論
特定行為看護演習Ⅰ
特定行為看護演習Ⅱ

周麻酔期看護実践部門

（必修）
周麻酔期看護特論
周麻酔期看護演習Ⅰ
周麻酔期看護演習Ⅱ
周麻酔期看護実践Ⅰ

（選択）
周麻酔期看護実践Ⅱ
周麻酔期看護実践Ⅲ

看護管理実践部門

（必修）
看護管理特論
看護管理演習Ⅰ
看護管理演習Ⅱ
看護実践実習

専門科目

（必修）
看護実践演習

（選択）
呼吸管理学実習Ⅰ　他

1年次

特定行為領域(共通)

（選択）
疾病予防学　他

特定行為領域(共通)

（必修）
フィジカルアセスメント

（選択）
疾病予防学　他

特定行為領域(共通)

（選択）
疾病予防学　他

特定行為領域(共通)

（選択）
疾病予防学　他

全領域(共通)

（必修）
看護学研究方法論Ⅰ
看護学研究方法論Ⅳ
看護学研究方法論Ⅴ

（選択必修）
看護学研究方法論Ⅱ
看護学研究方法論Ⅲ

（選択）
外国語文献レビュー　他

全領域(共通)

（必修）
看護学研究方法論Ⅰ
臨床解剖生理学
臨床薬理学

（選択）
看護理論　他

全領域(共通)

（必修）
看護学研究方法論Ⅰ

（選択）
看護学研究方法論Ⅱ　他

全領域(共通)

（必修）
看護学研究方法論Ⅰ
看護理論
看護倫理
看護管理学
コンサルテーション論

（選択）
看護学研究方法論Ⅱ　他

研究コース

高度実践コース
専門看護師領域
母性CNS部門

高度実践コース
特定行為領域
特定行為実践部門

高度実践コース
特定行為領域
周麻酔期看護実践部門

看護管理コース
看護管理領域
看護管理実践部門

02　科目・担当教員一覧【2026年度】

研究コース

：必修科目
：選択必修科目
：選択科目

領域／部門	科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
全領域	看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期・後期	2	立岡・河村（前期）、荻田（後期）	NM1-001-2
	看護学研究方法論Ⅱ	講義	1-2	後期	2	河村	NM1-002-2
	看護学研究方法論Ⅲ	講義	1-2	後期	2	宮松、龍野	NM1-003-2
	看護学研究方法論Ⅳ	講義	1-2	後期	2	菊池	NM1-004-2
	看護学研究方法論Ⅴ	演習	1	通年	2	各指導教員	NM1-005-2
	外国語文献レビュー	講義	1	前期	2	加藤	NM1-006-2
	看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2
	看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2
	看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2
	コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2
	看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2
	看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2
	臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	村田聡、喜多、伊藤	NM1-013-2
	臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2
	臨床診断学	講義	1	前期	2	馬場	NM1-015-2
	看護学課題実習	実習	1	通年	2	各指導教員	NM1-016-2
特定行為	疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2
	フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2
	疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場、北川	NM2-003-2
	臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2
	臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2
	特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2
	特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2
	診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2

※期別…「前期」は４～９月、「後期」は10～翌３月とします。

領域／部門		科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数		担当教員	ナンバリング
生涯発達看護実践科学部門	ウイメンズヘルス看護学	ウイメンズヘルス看護学特論	講義	1	前期	2	2	立岡	NM3-001-3
		ウイメンズヘルス看護学演習	演習	1	後期	1		土川、立岡、一杉、喜多	NM3-002-3
		周産期看護学演習	演習	2	前期	1		立岡、一杉、辻俊、喜多、柳、土川	NM3-003-3
	チャイルドヘルス看護学	チャイルドヘルス看護学特論	講義	1	前期	2	2	菊池	NM3-004-3
		チャイルドヘルス看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		菊池	NM3-005-3
		チャイルドヘルス看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		菊池	NM3-006-3
	NCD看護学	NCD看護学特論	講義	1	前期	2	2	宮松	NM3-007-3
		NCD看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		山口、宮松	NM3-008-3
		NCD看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		宮松、山口	NM3-009-3
	フレイルケア看護学	フレイルケア看護学特論	講義	1	前期	2	2	荻田	NM3-010-3
		フレイルケア看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		荻田	NM3-011-3
		フレイルケア看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		荻田	NM3-012-3
	看護病態管理学１	看護病態管理学１特論	講義	1	前期	2	2	喜多	NM3-013-3
		看護病態管理学１演習Ａ	演習	1	後期	1		喜多	NM3-014-3
		看護病態管理学１演習Ｂ	演習	2	前期	1		喜多	NM3-015-3
	看護病態管理学２	看護病態管理学２特論	講義	1	前期	2	2	馬場	NM3-016-3
		看護病態管理学２演習Ａ	演習	1	後期	1		馬場	NM3-017-3
		看護病態管理学２演習Ｂ	演習	2	前期	1		馬場	NM3-018-3
	看護臨床データサイエンス	看護臨床データサイエンス特論	講義	1	前期	2	2	龍野	NM3-019-3
		看護臨床データサイエンス演習A	演習	1	後期	1		龍野	NM3-020-3
		看護臨床データサイエンス演習B	演習	2	前期	1		龍野	NM3-021-3
ケアシステム看護科学部門	基盤医科学	基盤医科学特論	講義	1	前期	2	2	村田聡	NM4-001-3
		基盤医科学演習Ａ	演習	1	後期	1		村田聡	NM4-002-3
		基盤医科学演習Ｂ	演習	2	前期	1		村田聡	NM4-003-3
	基盤看護学	基盤看護学特論	講義	1	前期	2	2	笠原	NM4-004-3
		基盤看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		笠原	NM4-005-3
		基盤看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		笠原	NM4-006-3
	ヘルスプロモーション看護学	ヘルスプロモーション看護学特論	講義	1	前期	2	2	伊藤	NM4-007-3
		ヘルスプロモーション看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		伊藤	NM4-008-3
		ヘルスプロモーション看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		輿水、伊藤	NM4-009-3
	訪問看護学	訪問看護学特論	講義	1	前期	2	2	辻村	NM4-010-3
		訪問看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		辻村	NM4-011-3
		訪問看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		辻村	NM4-012-3
	精神保健看護学	精神保健看護学特論	講義	1	前期	2	2	河村、宇田川、尾関	NM4-013-3
		精神保健看護学演習Ａ	演習	1	後期	1		河村	NM4-014-3
		精神保健看護学演習Ｂ	演習	2	前期	1		河村	NM4-015-3
研究科目		看護学特別研究	特別研究	1後-2通年		10		各指導教員	NM8-001-3

※期別…「前期」は４～９月、「後期」は10～翌３月とします。

高度実践コース
―母性CNS部門

：必修科目
：選択必修科目
：選択科目

領域／部門		科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
全領域		看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期・後期	2	立岡・河村（前期）、荻田（後期）	NM1-001-2
		看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2
		看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2
		看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2
		コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2
		看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2
		看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2
		臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	村田聡、喜多、伊藤	NM1-013-2
		臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2
特定行為		疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2
		フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2
		疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場、北川	NM2-003-2
		臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2
		臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2
		特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2
		特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2
		診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2
専門看護師領域	母性CNS	ウイメンズヘルス学特論	講義	1	前期	2	立岡、喜多	NM5-001-3
		ウイメンズヘルス看護学演習	演習	1	後期	2	立岡、一杉、喜多、土川	NM5-002-3
		周産期ハイリスク特論	講義	1	前期	2	立岡、喜多、土川、桂	NM5-003-3
		周産期看護学演習	演習	1	前期	2	立岡、一杉、辻俊、喜多、柳、土川、桂	NM5-004-3
		母乳看護学	講義	2	前期	1	立岡、梅田	NM5-005-3
		周産期メンタルヘルス学	講義	1	前期	2	立岡、一杉、藤井	NM5-006-3
		リプロダクティブヘルスと看護	演習	1	後期	1	立岡、辻俊、天野、梅田、高橋	NM5-007-3
		周産期家族看護学	講義	2	前期	1	立岡、土川	NM5-008-3
		女性と暴力	演習	1	後期	1	立岡、一杉	NM5-009-3
		ウイメンズヘルスケア実習	実習	1	後期	2	立岡、一杉、土川	NM5-010-3
		母性看護実践実習Ⅰ	実習	2	前期	4	立岡、辻俊、喜多、桂	NM5-011-3
		母性看護実践実習Ⅱ	実習	2	通年	4	立岡、辻俊、喜多、土川、桂	NM5-012-3
		周産期看護演習Ⅰ	演習	2	通年	4	立岡、一杉、辻俊、喜多、柳、土川、桂	NM5-013-3
研究科目		看護実践課題研究（母性CNS）	課題研究	2	通年	4	各指導教員	NM8-002-3

※期別…「前期」は４～９月、「後期」は10～翌３月とします。

高度実践コース
―特定行為実践部門・周麻酔期看護実践部門

：必修科目
：選択必修科目
：選択科目

領域／部門		科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
全領域		看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期・後期	2	立岡・河村（前期）、荻田（後期）	NM1-001-2
		看護学研究方法論Ⅱ	講義	1-2	後期	2	河村	NM1-002-2
		看護学研究方法論Ⅲ	講義	1-2	後期	2	宮松、龍野	NM1-003-2
		看護学研究方法論Ⅳ	講義	1-2	後期	2	菊池	NM1-004-2
		看護学研究方法論Ⅴ	演習	1	通年	2	各指導教員	NM1-005-2
		外国語文献レビュー	講義	1	前期	2	加藤	NM1-006-2
		看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2
		看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2
		看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2
		コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2
		看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2
		看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2
		臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	村田聡、喜多、伊藤	NM1-013-2
		臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2
		臨床診断学	講義	1	前期	2	馬場	NM1-015-2
特定行為		疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2
		フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2
		疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場、北川	NM2-003-2
		臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2
		臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2
		特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2
		特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2
		診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2
特定行為領域	専門科目	呼吸管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-001-3
		呼吸管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	4	北川	NM6-002-3
		呼吸管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-003-3
		循環管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	3	北川	NM6-004-3
		循環管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-005-3
		循環管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-006-3
		循環管理学実習Ⅳ	実習	1-2	通年	4	北川	NM6-007-3
		外科管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-008-3
		外科管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	2	喜多	NM6-009-3
		外科管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	1	喜多	NM6-010-3
		外科管理学実習Ⅳ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-011-3
		栄養管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	2	馬場	NM6-012-3
		栄養管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	3	馬場	NM6-013-3
		栄養管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	1	馬場	NM6-014-3
		栄養管理学実習Ⅳ	実習	1-2	通年	2	馬場	NM6-015-3
		栄養管理学実習Ⅴ	実習	1-2	通年	3	馬場	NM6-016-3
		創傷管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	2	喜多	NM6-017-3
		創傷管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	1	喜多	NM6-018-3
		感染管理学実習	実習	1-2	通年	3	北川	NM6-019-3
		精神疾患管理学実習	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-020-3
		疼痛管理学実習	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-021-3

※期別…「前期」は４～９月、「後期」は10～翌３月とします。

領域／部門		科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
特定行為領域	専門科目	スキルズラボ演習Ⅰ	演習	1-2	通年	2	北川、馬場	NM6-022-3
		スキルズラボ演習Ⅱ	演習	1-2	通年	2	北川、馬場	NM6-023-3
		看護実践演習（特定行為実践）	演習	1-2	通年	6	北川、馬場	NM6-024-3
	特定行為実践	特定行為看護特論	講義	1-2	通年	2	各指導教員	NM6-025-3
		特定行為看護演習Ⅰ	演習	1-2	通年	1	各指導教員	NM6-026-3
		特定行為看護演習Ⅱ	演習	1-2	通年	1	各指導教員	NM6-027-3
	周麻酔期看護実践	周麻酔期看護特論	講義	1-2	通年	2	北川	NM6-028-3
		周麻酔期看護演習Ⅰ	演習	1-2	通年	1	北川	NM6-029-3
		周麻酔期看護演習Ⅱ	演習	1-2	通年	1	北川	NM6-030-3
		周麻酔期看護実践Ⅰ	実習	1-2	通年	3	北川	NM6-031-3
		周麻酔期看護実践Ⅱ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-032-3
		周麻酔期看護実践Ⅲ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-033-3
研究科目		看護実践課題研究（特定行為実践）	課題研究	1-2	通年	4	各指導教員	NM8-003-3

※期別…「前期」は４～９月、「後期」は10～翌３月とします。

看護管理コース
―看護管理領域（看護管理実践部門）

：必修科目
：選択必修科目
：選択科目

領域／部門		科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
全領域		看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期・後期	2	立岡・河村（前期）、荻田（後期）	NM1-001-2
		看護学研究方法論Ⅱ	講義	1-2	後期	2	河村	NM1-002-2
		看護学研究方法論Ⅲ	講義	1-2	後期	2	宮松、龍野	NM1-003-2
		看護学研究方法論Ⅳ	講義	1-2	後期	2	菊池	NM1-004-2
		看護学研究方法論Ⅴ	演習	1	通年	2	各指導教員	NM1-005-2
		外国語文献レビュー	講義	1	前期	2	加藤	NM1-006-2
		看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2
		看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2
		看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2
		コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2
		看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2
		看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2
		臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	村田聡、喜多、伊藤	NM1-013-2
		臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2
		臨床診断学	講義	1	前期	2	馬場	NM1-015-2
特定行為		疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2
		フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2
		疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場、北川	NM2-003-2
		臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2
		臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2
		特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2
		特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2
		診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2
看護管理領域	看護管理実践	看護管理特論	講義	1-2	前期	2	笠原	NM7-001-3
		看護管理演習Ⅰ	演習	1-2	後期	1	笠原	NM7-002-3
		看護管理演習Ⅱ	演習	1-2	前期	1	笠原	NM7-003-3
		看護実践実習（看護管理実践）	実習	1-2	通年	6	笠原	NM7-004-3
研究科目		看護実践課題研究（看護管理実践）	課題研究	1-2	通年	4	各指導教員	NM8-004-3

※期別…「前期」は４～９月、「後期」は10～翌３月とします。

03　教員の主な研究内容

2026年10月1日現在

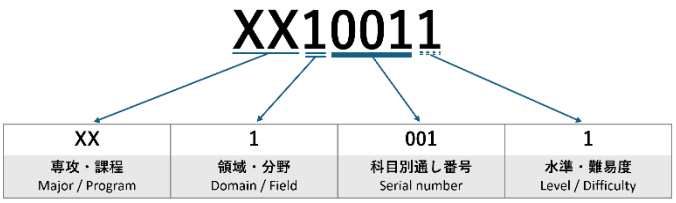
所属	職名	教員氏名／主な研究内容
生涯発達看護実践科学部門　ウイメンズヘルス看護学領域		
	教授	**立岡　弓子** 1．乳房ケアのエビデンス 2．授乳ケア用品の実装開発に関する研究 3．性暴力に関する研究 4．分娩予測指標の開発 5．ジェンダーと女性の健康
	准教授	**土川　祥** 1．女性と社会医学 2．分娩後の骨盤底弛緩に関する研究 3．妊娠期のメンタルヘルスについての研究 4．周産期医療における代替医療の効果の検証
生涯発達看護実践科学部門　チャイルドヘルス看護学領域		
	教授	**菊池　良太** 1．　小児看護・医療における患者報告型アウトカムの評価と向上に関する研究 2．　疾患や障害をもつ子どもと家族に関する研究 3．　小児期を中心とした家族看護に関する研究
生涯発達看護実践科学部門　NCD看護学領域		
	教授	**宮松　直美** 1．成人期の健康障害と生活環境要因に関する疫学研究 2．循環器疾患の発症および再発予防に関する研究 3．非感染性疾患（NCD）の啓発および療養指導方略の開発と効果検証
	准教授	**山口　亜希子** 1．循環器疾患領域の看護実践に関する研究 2．クリティカルケア領域の看護実践に関する研究 3．患者－看護師間コミュニケーションに関する研究
生涯発達看護実践科学部門　フレイルケア看護学領域		
	准教授	**荻田　美穂子** 1．高齢者のフレイル・要介護予防に関する疫学研究 2．フレイルハイリスク集団（糖尿病・神経難病等）に対する生活機能の維持・向上に関する研究 3．高齢者の在宅療養移行支援に関する研究
生涯発達看護実践科学部門　看護病態管理学１領域		
	教授	**喜多　伸幸** 1．産科危機的出血の診断・治療（産科DICを含む） 2．アイ･トラッキング法を用いた新しい医学技術の伝承方法の開発
生涯発達看護実践科学部門　看護病態管理学２領域		
	教授	**馬場　重樹** 1．間接熱量測定を用いた必要エネルギー量に関する研究 2．体組成と疾患アウトカムとの関連性に関する研究 3．炎症性腸疾患の栄養療法に関する研究
生涯発達看護実践科学部門　看護臨床データサイエンス		
	特任教授	**龍野　洋慶** 1．臨床現場で活用可能なデータサイエンス技術の開発（医療特化型LLMによるケアプランおよび看護サマリー自動生成AIシステムの構築など） 2．自然言語処理による看護記録の分析（オンプレミス型LLMによる高齢者施設入所者のWell-being規定因子の解明など） 3．臨床看護データを用いた看護実践の可視化と評価 4．ウェアラブルデバイスを用いた身体活動量・睡眠の実態調査など
ケアシステム看護科学部門　基盤医科学領域		
	教授	**村田　聡** 1．がん薬物療法関連有害事象に対する病態生理に基づいた支持療法の開発 2．がん手術後のリンパ浮腫発症機序の解明と効果的なリンパドレナージ手技の開発 3．疼痛緩和に対する集学的ケア 4．消化器がん手術後の転移機序の解析と治療法の開発 5．固形がんに対する免疫細胞治療法の開発 6．消化器がん周術期におけるがん微小環境の制御
ケアシステム看護科学部門　基盤看護学領域		
	教授	**笠原　聡子** 1．医療および看護ケア実践の質・安全に関する研究 2．ヘルスケアプロセスの可視化と評価・改善に関する研究 3．看護人材の育成と管理に関する研究 4．組織・個人におけるストレスマネジメントに関する研究 5．医療の需給バランスに関する研究
	准教授	**玉木　朋子** 1．看護教育に関する研究 2．シミュレーション教育に関する研究 3．EOLステージにあるがん患者、高齢者のQOLに資する研究
	講師	**山下　敬** 1．看護技術に関する研究 2．男性看護師/男子看護学生に関する研究 3．ICTを用いた看護学教育に関する研究
ケアシステム看護科学部門　ヘルスプロモーション看護学領域		
	教授	**伊藤　美樹子** 1．要介護高齢者と介護家族の共生に関する研究 2．生老病死とQOL、有効なライフスキルに関する研究 3．地域包括ケアシステムに関する研究 4．主観的健康に関する研究
	講師	**輿水　めぐみ** 1．在宅療養者とその家族に関する研究 2．訪問看護師のキャリア形成に関する研究 3．新卒訪問看護師の支援に関する研究

所属	職名	教員氏名／主な研究内容
ケアシステム看護科学部門　訪問看護学領域		
	教授	**辻村　真由子** 1．家族看護を基盤とした在宅看護 2．地域における多職種連携・訪問看護師育成の体制構築に関する研究 3．在宅ケアロボットの活用に関する研究（国際比較研究を含む）
ケアシステム看護科学部門　精神保健看護学領域		
	教授	**河村　奈美子** 1．こころの健康に関する研究 2．精神看護技術教育に関する研究 3．患者-看護師関係・コミュニケーションに関する研究 4．発達障害をもつ対象者と家族の看護支援に関する研究 5．精神疾患を持つ対象者の看護に関する研究

04　科目ナンバリング

科目ナンバリングとは

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。本学では、次のように科目ナンバリングを構成しています。



●専攻・課程

NM	看護学専攻博士前期課程
ND	看護学専攻博士後期課程

●領域・分野

看護学専攻博士前期課程

1	全領域
2	特定行為
3	生涯発達看護実践科学部門
4	ケアシステム看護科学部門
5	専門看護師領域
6	特定行為領域
7	看護管理領域
8	研究科目

看護学専攻博士後期課程

1	共通科目
2	生涯発達看護実践科学部門
3	ケアシステム創成看護科学部門
4	特別研究科目

●科目別通し番号

3 桁　　001～

●水準・難易度

1	入門
2	専門基礎
3	専門応用
4	専門総括

05　主な規程等

この冊子に掲載する情報の多くは、滋賀医科大学が定める規程等に基づいています。以下に、代表的な規程等を列挙します。なお、これらの規程等の内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●国立大学法人滋賀医科大学学則

https://www.shiga-med.ac.jp/~hqkouhou/files/rules/gakusoku.pdf
（本学 HP トップ>大学紹介>情報公開>教育情報の公開）

●国立大学法人滋賀医科大学大学院学則

https://www.shiga-med.ac.jp/~hqkouhou/files/rules/daigakuingakusoku.pdf
（本学 HP トップ>大学紹介>情報公開>教育情報の公開）

●国立大学法人滋賀医科大学学位論文（修士）審査実施要項

https://www.shiga-med.ac.jp/sites/default/files/2024-09/H00030%E4%BF%AE%E5%A3%AB%E8%AB%96%E6%96%87%E5%AF%A9%E6%9F%BB%E5%AE%9F%E6%96%BD%E8%A6%81%E9%A0%85.pdf
（本学 HP トップ>教育・学生支援>教育>学位申請）

06　スタートガイド

新入生やることリスト

医学系研究科看護学専攻博士前期課程に入学した学生は、次ページ以降の案内を参考にしながら、以下のリストに挙げられたことを行ってください。なお、*印が付いている項目は、入学式・新入生ガイダンスの日に、全員で行います。当日欠席した場合は、下記の担当部署にて指示を仰いでください。

入学後すぐ
☐　メールアドレスを作成する*
☐　VPN の設定を行う
☐　研究指導計画書を読む（WebClass）
☐　履修登録を行う
☐　健康診断を受診する＜10 月＞
履修届提出後
☐　履修中の科目を確認する（学生用 WEB サービス）
☐　履修登録した科目の担当教員に連絡する（Trunk）
☐　授業に出席する
学期終了後
☐　成績を確認する（学生用 WEB サービス）
必要なとき
☐　各種証明書の交付を依頼する

【担当部署】

- **メールアドレスの作成**　　マルチメディアセンター（附属図書館 1 階）
- **健康診断の受診**　　学務課学生支援係（一般教養棟 1 階、学務課 2 番窓口）

VPN 接続する

VPN とは、インターネット上に仮想の専用線を設定し、特定の人のみが利用できる専用ネットワークのことをいいます。滋賀医科大学の学内ポータルシステムや、e-Learning システムに学外からアクセスするには、以下の案内に従って VPN 接続の設定をする必要があります。

1．多要素認証の設定を行う

VPN サービスへのログイン時には、多要素認証を使用する。本学マルチメディアセンターによる各種端末別の導入マニュアルに従って、設定を行う。なお、多要素認証の初回設定は学内からのみ実施可能。

導入マニュアルはこちら：https://www.shiga-med.ac.jp/mmc/service/tayoso/

（本学マルチメディアセンターHP>多要素認証>多要素認証システム認証設定方法）

※設定について、ご不明な点があれば、マルチメディアセンター（附属図書館 1 階）までお問合せください。

2．VPN サービスの設定を行う

本学マルチメディアセンターによる各種 OS 別の導入マニュアルに従って、設定を行う。

導入マニュアルはこちら：https://www.shiga-med.ac.jp/mmc/service/vpn/

（本学マルチメディアセンターHP>VPN サービス>VPN クライアント導入マニュアルと CA 証明書）

※設定について、ご不明な点があれば、マルチメディアセンター（附属図書館 1 階）までお問合せください。

3．VPN 接続する

1．で設定を行った VPN サービスを起動し、学内ポータルシステム等にアクセスする。

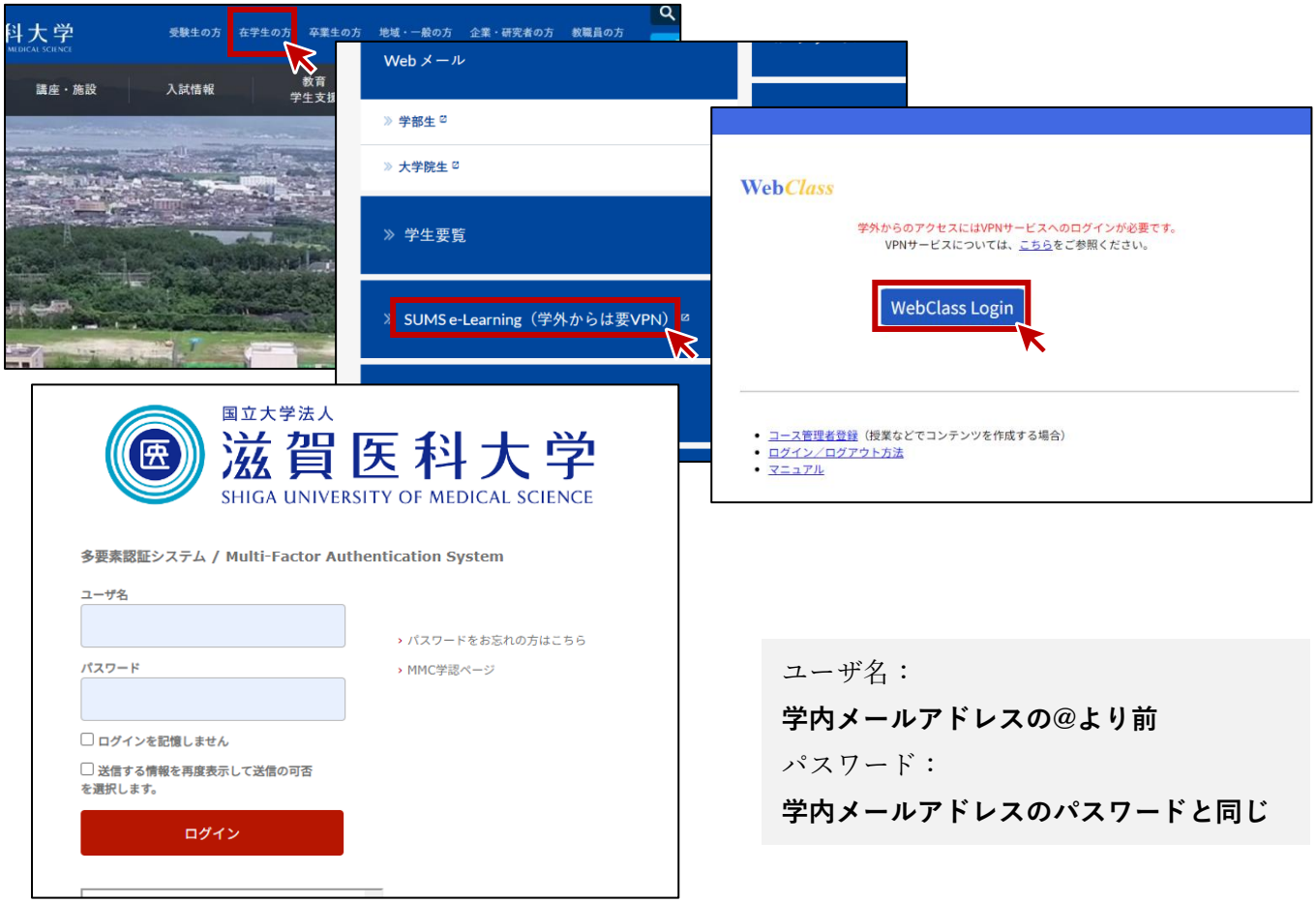
研究指導計画書を読む

研究指導計画書とは、指導教員が学生に対してどのような研究指導を行うか、年間計画を明示するものです。医学系研究科の学生は、毎年度始めに研究指導計画書を確認してください。

1．WebClass にアクセスする

大学 HP>在学生の方へ>SUMS e-Learning の順で e-Learning システム「WebClass」にアクセスし、ログインする。

※学外から WebClass にアクセスする場合は、VPN サービスを有効にした状態でアクセスしてください。VPN サービスの設定については、**「VPN 接続する」**をご確認ください。



ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

2．研究指導計画書を読む

メインページ「参加しているコース」>研究指導計画書>（主指導教員の所属講座）研究指導計画書の順にクリックし、計画書の内容を確認する。

3．研究指導計画書の学生確認欄に入力する

メインページ「参加しているコース」>研究指導計画書>（主指導教員の所属講座）学生確認欄の順にクリックし、必要事項を入力（回答）する。

※「学生確認欄」への回答を忘れると、研究指導計画書を確認したこととみなされません。

履修登録をする

履修登録は、学修計画書（履修届）を所定の期日までに学務課に提出することで行えます。指導教員とご相談の上、履修計画を立てて学修計画書を作成してください。学修計画書の様式は、ガイダンス資料とともに配布します。

1．指導教員と履修計画を立てる

学修計画書の科目一覧に載っている科目のうち、どの科目を、何年次に履修するか、を自身の指導教員と相談の上、決定する。

2．学修計画書に必要事項を記入する

学修計画書２ページ目にある記入方法の説明を読みながら、様式に必要事項を記入し、指導教員の押印をもらう。

3．提出する学修計画書の控えを取る

在学中に履修計画を確認できるよう、提出する学修計画書のスキャンをとるか、写真を撮っておく。

4．学修計画書を提出する

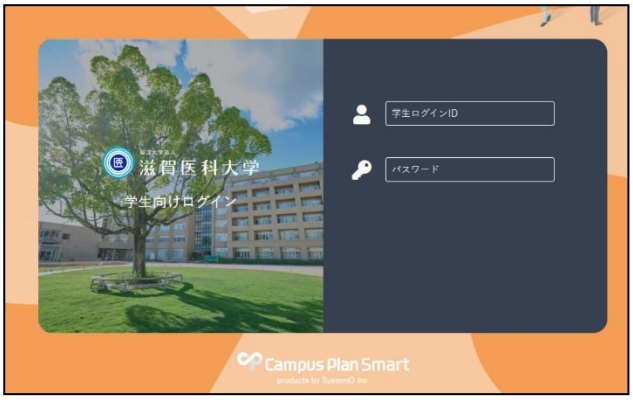
学修計画書１ページ目に記載されている期日までに、学修計画書を学務課大学院教育支援係（学務課３番窓口）に提出する**【提出期日厳守】**。

履修中の科目・成績を確認する

科目の履修状況や成績は、専用システム「学生用 WEB サービス」で確認することができます。履修登録が完了したとき、成績が確定したときに、学務課から通知メールが届くので、本システムで内容の確認を行ってください。

1．学生用 WEB サービスにアクセスする

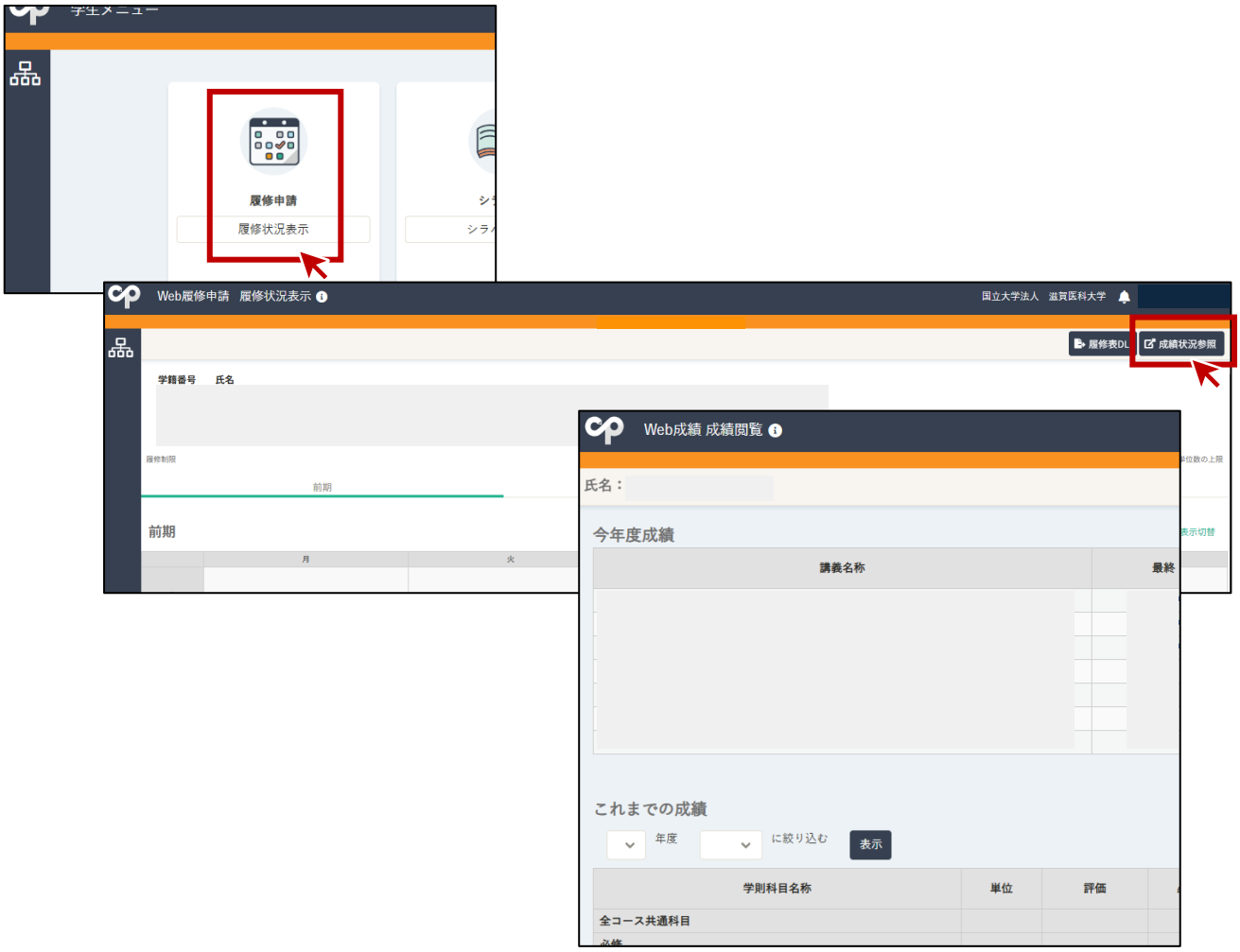
本学 HP>在学生の方へ>学生用 WEB サービス
の順で、学生用 WEB サービスにアクセスしログインする。
※学外から学生用 WEB サービスにアクセスする場合は、VPN サービスを有効にした状態でアクセスしてください。VPN サービスの設定については、「**VPN 接続する**」をご確認ください。



ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

2．履修状況を確認する

トップ>履修申請>成績状況参照の順にクリックし、履修中の科目・成績を確認する。



教員の連絡先を調べる

教員の連絡先は、本学の教職員検索システム「Trunk」で調べることが可能です。Trunk では、教員のメールアドレスだけでなく、その所属や職名も確認することができます。

1．Trunk にアクセスする

本学 HP>在学生の方へ>まるっと滋賀医大（学内専用）の順で、まるっと滋賀医大にアクセスし、
スタッフ・メールアドレス PHS 検索≫Trunk 教職員検索をクリックする。
※学外からは、アクセスすることができません。学内からのみ利用可能です。

2．Trunk にログインする

ログイン画面が表示されたらログインするし、調べたい教員を、名前や所属で検索する。

ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

※外国人教員名で検索する際、姓名が反対に登録されていたり、姓名いずれかにミドルネームが含まれる場合があります。この点を考慮して検索ワードをご入力ください。

オンラインで授業に出席する

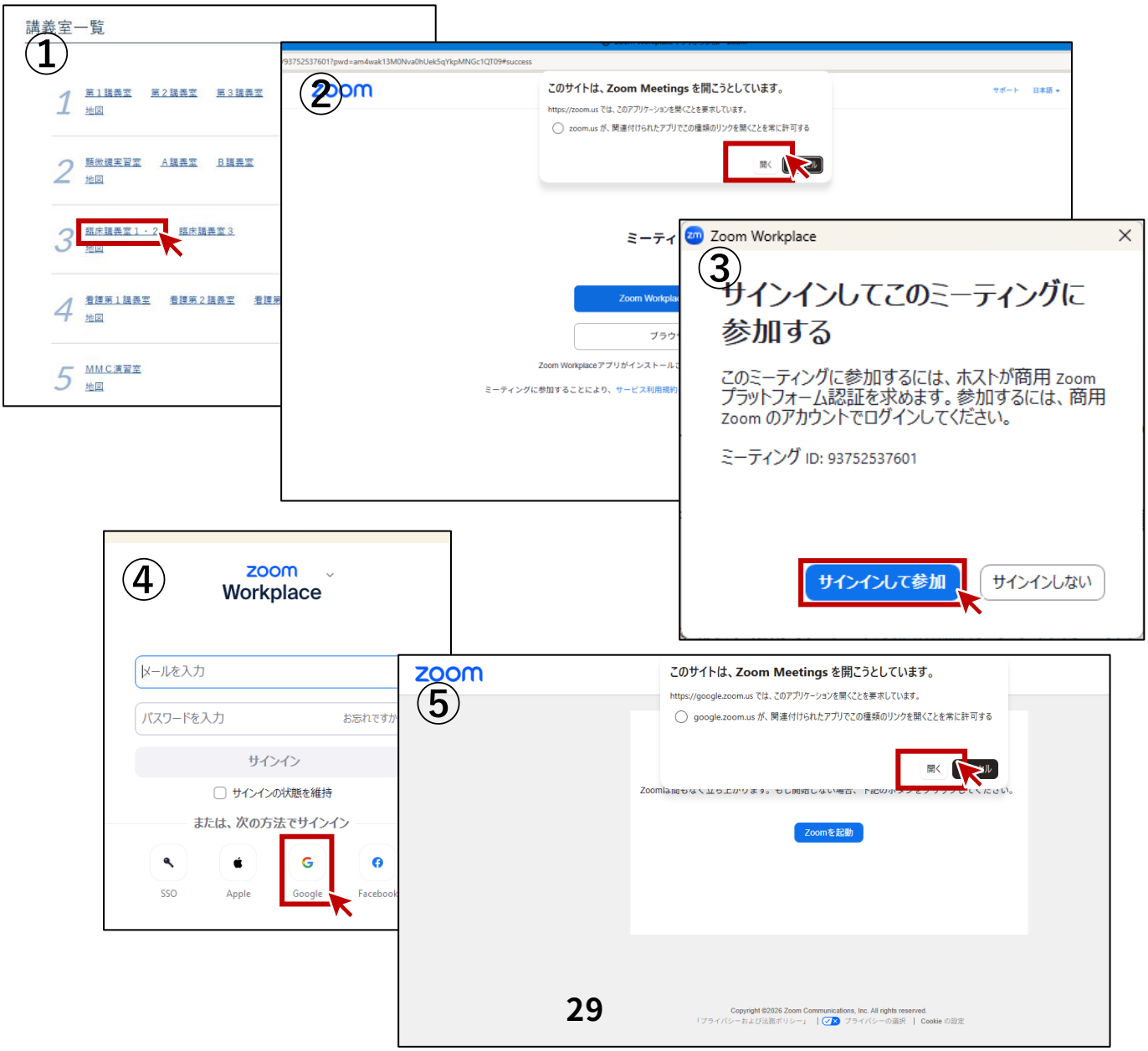
医学系研究科看護学専攻の科目のうち、一部の科目は授業を対面・Zoom によるリアルタイム配信・オンデマンド配信を行っています。以下の案内を参考に、授業に出席してください。なお、Zoom によるリアルタイム配信にて授業に出席する場合、事前に本学の個人メールアドレスを使用し、アカウントを作成する必要があります。アカウントの作成については、マルチメディアセンターHP を確認してください。

1．授業に出席する【リアルタイム配信】①

本学 HP>教育・学生支援>教育>大学院教務情報の順で、講義室一覧のページにアクセスする。
講義室一覧から講義が行われる講義室名をクリック（①）し、Zoom Meeting が開いたら（②③）、Google アカウントでサインイン（④）する。

ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

サインイン後、もう一度、Zoom Meeting へのアクセスを試みる（⑤）。



2．授業に出席する【オンデマンド配信】

大学 HP>在学生の方へ>SUMS e-Learning の順で e-Learning システム「WebClass」にアクセスし、ログインする。

メインページ「参加しているコース」内から受けたい科目名等をクリックし、受けたい授業の動画ページをクリックする。

※WebClass のログイン方法の詳細は、「**研究指導計画書を読む**」を参照してください。

各種手続きを行う

現在の主(副)指導教員を変更するとき、休学・退学したいとき、転居したとき等には、以下の手続きを行ってください。

<table>
<tr><th>種類</th><th>申請書類</th><th>申請期日</th><th>申請先</th></tr>
<tr><td>指導教員変更</td><td>主（副）指導教員変更願</td><td>変更したい日の 15 日前</td><td rowspan="5">学務課
大学院教育支援係</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学籍の異動</td><td>休学願・休学期間延長願・退学願</td><td rowspan="2">別途メールで通知</td></tr>
<tr><td>復学願</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学生情報の
登録・変更</td><td>旧姓名使用願・通称名使用願</td><td rowspan="2">変更したい日の 15 日前</td></tr>
<tr><td>改姓名願</td></tr>
<tr><td>住所登録等変更届</td><td>転居後すぐ</td><td rowspan="2">学務課
学生支援係</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>海外渡航届</td><td>渡航開始日の 1 カ月前</td></tr>
</table>

1．申請書類を入手する

申請書類（規定様式）を、学務課窓口でもらうか、本学 HP からダウンロードする。
様式：本学 HP>教育・学生支援>諸手続・諸証明>諸手続>修学関係の願出、届出等

2．申請書類を提出する

申請書類に必要事項を記入し、学務課大学院教育支援係（一般教養棟 1 階　学務課 3 番窓口）に提出する。

※申請の種類によって、指導教員の押印が必要となります。特に、旧指導教員が退職するときは、お早めに手続きすることをおすすめします。

証明書の発行を依頼する

在学証明書等、教務系の証明書は、学務課に「証明書交付願」を提出することで、交付を依頼できます。交付願提出日から証明書交付までにかかる時間は、通常 1 営業日です。本学の規定様式で発行する証明書以外のもの（特殊証明書）は、交付願提出日から証明書交付までに 5 営業日程度かかりますので、時間に余裕をもって依頼してください。

本学の規定様式で発行できる証明書　※いずれも日本語版・英語版あり

種類	記載事項
在学証明書	入学年月日・専攻名・課程名
学業成績証明書	成績評価（GPA の記載なし）・単位数・履修年度 専攻名・課程名・コース名・入学年月日・修了年月日
修了証明書*	修了年月日・専攻名・課程名
修了見込み証明書	専攻名・課程名　（修了予定日の記載なし）
在籍証明書*	在籍期間・専攻名・課程名
学位授与証明書*	学位名・学位記番号・論文題目・学位授与年月日・専攻名・課程名

*印：在学生には交付できない証明書

1．証明書交付願を入手する

学務課窓口で証明書交付願（規定様式）をもらうか、下記リンク先からダウンロードする。

様式ダウンロードはこちら：

https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/procedures-and-certificates/certificates-for-students

（本学 HP>教育・学生支援>諸手続・諸証明>諸証明（在学生）>交付申請様式）

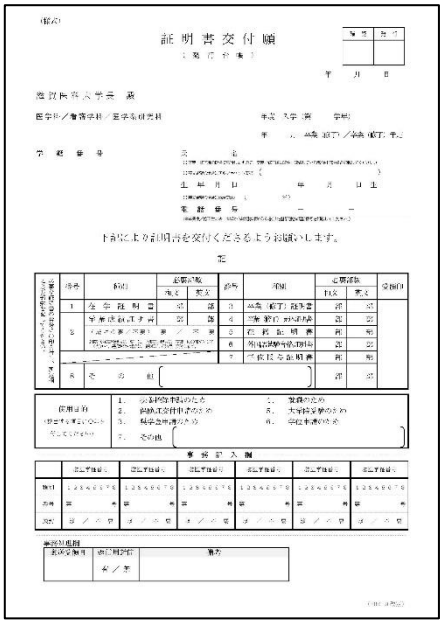
2．証明書交付願を提出する

証明書交付願に必要事項を記入し、

学務課大学院教育支援係（一般教養棟 1 階　学務課 3 番窓口）

に提出する。

※証明書の種類によっては、別の窓口に提出する必要があります。
※保育園等の申込に使用する就学状況証明書の交付を依頼する際は、指導教員による就学状況証明書もご提出ください。また、就学状況証明書は特殊証明書です。
交付に時間を要しますので、ご注意ください。
※その他、本学の規定様式で発行する証明書以外の証明書の交付を依頼する場合は、あらかじめ学務課大学院教育支援係までご相談ください。


証明書交付願